

3月は1.3%増の167万TEU

■アジア発米国向け、データマイン調査

米国のデカルト・データマインが14日に発表した、2026年3月のアジア主要10カ国・地域発米国向け東航コンテナ荷動き（速報値、母船積み地ベース）は、前年同月比1.3%増の166万5755TEUだった。前月比では7.2%増だった。国別・地域別で見ると、インド出しや台湾出し、日本出しが前年同月比2ケタ減となった一方、ベトナム出しやマレーシア出しが約4割増と伸長し、マイナス分を補った。世界全体から米国向けのコンテナ荷動きは前年同月比0.3%減の236万4100TEUだった。

3月の国・地域別のアジア10カ国・地域発米国向けコンテナ輸送量と品目別の荷動き統計は表のとおり。同統計は米国税関での通関時の数値を基に作成された。

1位の中国出しは引き続き減少した。2位のベトナム出しは39.7%増の25万7655TEU、3位の韓国出しは7.0%増の23万60TEU、7位のタイ出しは11.8%増の6万9565TEU、8位のマレーシア出しは41.3%増の4万1474TEU、10位のスリランカ出しは20.4%増の3万1140TEUと堅調に推移した。他方で、

4位のシンガポール出しは9.8%減の7万4573TEU、5位のインド出しは17.8%減の7万1640TEU、6位の台湾出しは15.1%減の6万9973TEU、9位の日本出しは14.1%減の3万6564TEUと落ち込んだ。

品目別では、機械類や電気類、車両等、鉄鋼製品、ゴム類が前年同月比で減少したものの、プラスチック類や玩具類は2ケタ増、物量の多い家具類、アパレル類、衣類は増加した。データマインによると、1位の家具類は昨年8月以来の前年同月比増となった。シェア率24%を占める家具類の増加が全体を押し上げたという。

2026年3月の米国東航コンテナ荷動き

(単位:TEU、%)

積み地	3月	前年同月比	前月比	シェア	1~3月	前年同期比
中国	783,111	▲6.0	▲5.0	47.0	2,472,105	▲12.8
ベトナム	257,655	39.7	9.5	15.5	757,928	39.2
韓国	230,060	7.0	33.5	13.8	590,004	▲6.1
シンガポール	74,573	▲9.8	25.9	4.5	210,871	▲11.9
インド	71,640	▲17.8	16.5	4.3	208,827	▲10.7
台湾	69,973	▲15.1	19.2	4.2	196,712	▲16.6
タイ	69,565	11.8	23.8	4.2	202,245	22.1
マレーシア	41,474	41.3	30.9	2.5	111,210	54.9
日本	36,564	▲14.1	23.8	2.2	97,674	▲10.1
スリランカ	31,140	20.4	23.9	1.9	91,723	29.4
10カ国・地域合計	1,665,755	1.3	7.2	100.0	4,939,299	▲3.8

※母船積み地ベース・実入り貨物のみ、FROB(米国経由第三国向け)貨物は含まない
(出所=デカルト・データマイン)

2026年3月のアジア10カ国・地域発米国向け上位品目コンテナ荷動き

(単位:TEU、%)

品目	3月	前年同月比	前月比	シェア	1~3月	前年同期比
家具類	291,202	7.3	7.3	24.4	857,858	▲2.2
機械類	191,225	▲1.8	14.4	16.0	537,974	▲5.7
プラスチック類	191,205	12.2	0.1	16.0	583,317	9.4
電気類	132,806	▲1.9	5.2	11.1	395,565	▲5.0
車両等	94,248	▲0.5	11.3	7.9	271,422	▲3.7
鉄鋼製品	78,221	▲3.7	5.2	6.5	235,794	▲7.5
ゴム類	69,126	▲2.6	23.5	5.8	194,135	▲2.5
玩具類	65,191	10.2	▲3.0	5.5	197,872	▲0.9
アパレル類	41,016	5.3	0.9	3.4	131,045	3.0
衣類	40,314	7.5	1.1	3.4	119,289	▲0.7
上位10品目合計	1,194,554	3.5	6.8	100.0	3,524,271	▲1.6

※母船積み地ベース・実入り貨物のみ、FROB(米国経由第三国向け)貨物は含まない
(出所=デカルト・データマイン)